

## 重点改革項目Ⅱ 市民との真のパートナーシップの形成

大項目	区自治協議会、地域コミュニティ協議会、NPOなどとのさらなる協働の推進		No.	35			
中項目	区自治協議会、地域コミュニティ協議会、NPO等との連携・協働によるまちづくり・公共サービスの推進		担当課	福祉総務課			
具体的な改革項目	社会福祉協議会をはじめ多様な関係団体との連携や、市民主体による支え合い活動の展開						
現状と課題 (これまでの取組み)	<p>区の地域福祉計画を実践する団体への助成や各種事業を通し、地域福祉推進の核となる人材を育成するとともに、「地域の茶の間」への支援拡大に努め、安心して暮らせる「地域の助け合い、支え合い」意識の醸成を図った。</p> <p>平成23年度からは、地域の複雑かつ多様な福祉課題に関係機関が連携して対応するため、福祉の専門職員を対象に研修を実施し、地域福祉コーディネーターを育成している。</p> <p>平成24年度は民生委員活動の負担軽減を図るため、民生委員協力員制度を施行した。また新たに、地域住民及び事業者の協力により、支援が必要と思われる方に適切な対応、支援を行う見守りネットワークを構築した。</p> <p>課題は、平成24年度の区・区社協による活動団体支援数は34件、「地域の茶の間」の設置個所は298件で、目標には達していない。今後、より取組みやすくするため、要件等の見直しも検討していく。また、見守り意識のない地域に対するアプローチや意識改革も課題であり、民生委員や自治会、専門機関と連携し慎重に意識醸成を図っていく。</p>						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	地域力を活かしながら、民生委員、社協、地域福祉計画実践団体、「地域の茶の間」に対し継続的に助成、支援し、地域住民の支え合い、助け合い意識の醸成を図ることにより、地域住民主体の高齢者等の見守り体制（共助）を構築。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち「新潟」を実現する。					
	取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の見守り体制を強化するため、地域で定期的な話し合いを持ち、課題や問題を洗い出し、できることから取組み、見守り意識を高めていく。</li> <li>・地域福祉計画実践団体、「地域の茶の間」等への助成と普及促進を図り、多くの見守る目が地域に行き届く体制を整備する。</li> <li>・地域の課題解決へのつなぎ役である、地域福祉コーディネーターの育成を図る。</li> <li>・成年後見制度の周知に努め、相談業務を充実させる。</li> </ul>					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度	平成26年度		最終目標／ 27年度以降	
			計画	実績	計画		実績
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等あんしん見守りネットワークの構築</li> <li>・地域の見守りモデル事業の実施</li> <li>・民生委員協力員制度の施行</li> <li>・地域福祉計画実践団体への支援</li> <li>・「地域の茶の間」開設支援</li> <li>・地域福祉コーディネーターの育成及びフォローアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等あんしん見守りネットワーク登録事業者の拡充</li> <li>・見守り実践地域の報告を通じて見守り意識の啓発</li> <li>・民生委員協力員制度の利用促進及び普及</li> <li>・地域福祉計画実践団体への支援</li> <li>・「地域の茶の間」開設支援</li> <li>・地域福祉コーディネーターの育成及びフォローアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等あんしん見守りネットワーク登録事業者の拡充</li> <li>・見守り実践地域の報告を通じて見守り意識の啓発実施</li> <li>・民生委員協力員制度の利用促進及び普及</li> <li>・地域福祉計画実践団体への支援</li> <li>・「地域の茶の間」開設支援実施</li> <li>・地域福祉コーディネーターの育成及びフォローアップ研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期地域福祉計画の策定</li> <li>・高齢者等あんしん見守りネットワーク登録事業者の拡充</li> <li>・見守り実践地域の報告を通じて見守り意識の啓発</li> <li>・民生委員協力員制度の利用促進及び普及</li> <li>・地域福祉計画実践団体への支援</li> <li>・「地域の茶の間」開設支援</li> <li>・地域福祉コーディネーターのフォローアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期地域福祉計画は新たに全市版も策定</li> <li>・高齢者等あんしん見守りネットワーク登録事業者の拡充</li> <li>・見守り実践地域の報告を通じて見守り意識の啓発実施</li> <li>・民生委員協力員制度の利用促進及び普及</li> <li>・「地域の茶の間」開設支援</li> <li>・地域福祉コーディネーターの事例研究及び意見交換</li> </ul>		
指標	地域福祉計画実践団体支援数	34	40	32	40	31	継続して実施
	地域の茶の間開設数	298	393	299	393	314	継続して実施



(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
進捗管理	取組みの状況	地域福祉計画実施団体支援数 27団体 (9月末時点) 地域の茶の間開設数 296件 (9月末時点)	進捗に遅れあり	地域福祉計画実施団体支援数 28団体 (9月末時点) 地域の茶の間開設数 303件 (9月末時点)	進捗に遅れあり
		地域福祉計画実施団体支援数 33団体 (3月末時点) 地域の茶の間開設数 299件 (3月末時点)	進捗に遅れあり	地域福祉計画実施団体支援数 31団体 (3月末時点) 地域の茶の間開設数 314件 (3月末時点)	進捗に遅れあり

(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	計画通り各事業に取り組み、高齢者等あんしん見守りネットワークでは12→63事業所へと大幅な拡充となった。区地域福祉計画実践団体支援数及び地域の茶の間開設数は、昨年度並みの実績に留まったが、市助成対象外を加えた茶の間数は467件と着実に拡大している。	C	計画に加え、地域の茶の間では新たに空き家を活用した場合に家賃を補助する制度を創設した。区地域福祉計画実践団体支援数及び地域の茶の間開設数は、昨年度並みの実績に留まったが、市助成対象外の茶の間数を加えると476件と着実に拡大している。	C
	課題、今後の方針、改善事項など	地域福祉計画は、新たに全市版を作成し周知を図る。地域の茶の間は、空き家を活用した場合の上乗せを行い、開設数の増に取り組む。		市全体では着実に拡大してきているが、地域による濃淡があるため、活動が少ない地域に重点化して啓発に取り組む。	

(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価		平成27年度以降
計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価	指標の伸びにはつながらなかったが、高齢者等あんしん見守りネットワークの登録事業者数や市助成対象外の茶の間数は着実に拡大している。各種の取組により地域福祉活動の推進を図り、支え合い、助け合い意識の醸成は進んだと考えられる。	C	活動が少ない地域に重点化して啓発を行い、引き続き地域住民の支え合い、助け合い意識の醸成を推進する。
	課題、今後の方針、改善事項など	市全体では着実に拡大してきているが、地域による濃淡があるため、活動が少ない地域に重点化して啓発に取り組む。		